

夕刊 日二十月二 行發日二十月二

超高速の小説涉獵

赤井 嶽 男

ニロツクな解説を目標筋は清麗で運びは奔放全くとした『美人詩抄』が日麗妖奇獨自の魅力に富んだ内容を持つ。此種作想の得れば直譯一語一語の無意とせらるる水守先生に願はば恨む程彼の彼女に對する愛着と思慕の情は慕つて行つた。そして彼は彼女の過

嵐の春

水守 貞之 氏作

（紹介）一月並の戀愛小説は既に現代の讀者には倦意と平凡を感じさせて來た。然し眞理は大膽な複雑な筆致と、思想的な生活のテンポを取り入れた奔放な生きた題材を求め、作筋が徹底して空想ばかりに走らず、社會の實生活にビタリと合致したものでなければ長篇小説として、毎日の紙面を賑はす事は出来ない時代となつて來た。いづれ地方の讀者でも平凡な古臭い單にあり來りの戀愛や人情の交錯子の心は何時しか眞吉からでは満足しない興味を起し、離れて行つた。その頃女子

仙臺 JCHK

- △前七、〇〇七、三〇〇 A ラ
△九、〇〇〇 A 氣象通報
△九、〇〇五 經濟市況
△九、〇一〇 料理献立(ホフ)
△九、〇一五 物産(朝倉長)

拈華微笑 人。ブル達の忘 通るものは瘦れぬ故氣前のよい男と賞をしながら、是非あれでな

市川健次

大根引き

夕陽が赤い。 小川健次は、まだ母さん

赤鞘安兵衛

村田月光 書



八百屋の荷を擔いで來て 仲間部屋の前に置き、中庭へ一人仲間が這つて來て

- △四、〇〇〇 A 全國ニュース
△三、〇〇〇 A 經濟市況
△二、〇〇〇 A 氣象通報(積雪)
△一、〇〇〇 A 家庭(石子)
△九、〇〇〇 A 經濟市況
△八、〇〇〇 A 全國ニュース
△七、〇〇〇 A 氣象通報(積雪)
△六、〇〇〇 A 家庭(石子)
△五、〇〇〇 A 經濟市況
△四、〇〇〇 A 全國ニュース
△三、〇〇〇 A 氣象通報(積雪)
△二、〇〇〇 A 家庭(石子)
△一、〇〇〇 A 經濟市況

貨切自動車の御用命は... 常警屋時計店... 不景氣飛ばし... 破魔弓で...

大塚肉店獨特の内地牛大廉賣... 山崎時計専門店... 須藤まよの... 木村外科醫院

